

平成31年1月28日

会員の皆様

レイカディア大学同窓会近江八幡支部

支部長 長谷部 森彦

研修部長 梅村 和夫

文化講座のご案内

平成30年度レイ大同窓会近江八幡支部主催の文化講座を下記により開催させていただきますので多数参加くださるようお願いいたします。

記

1. 日時 平成31年2月25日(月) 13:30~15:00

2. 場所 ひまわり館1階 ホール

3. 内容 「朝鮮通信使と近江八幡市の関わり」

4. 講師 市総合政策部文化観光課(市史編纂室)

副主幹 烏野茂治氏



朝鮮人街道とは、滋賀県野洲市小篠原で中山道から分岐し、琵琶湖東岸を北上し、彦根市鳥居本で再び中山道に合流する約41kmの街道です。元々琵琶湖舟運の港を繋ぐ、陸路として便利だった道を、信長が幹線道路として整備し、その後、関ヶ原の戦いで勝利をおさめた家康が凱旋した時に通ったという、めでたい道として、将軍上洛や外交使節の通行の際にのみ使われた。鎖国時代、唯一の外交関係があった、朝鮮からの外交使節が通ったので、この朝鮮人街道の名前がついた。今回の文化講座は、朝鮮通信使と近江八幡の関わりについてお話をお聞きします。

朝鮮通信使について

この場合、通信とは情報を交換するという意味ではなく、「信(よしみ)を通ずる」の意味で、親善友好使節団のことである。使節団の一行は正使、副使のほか、軍人、書記、医者、学者、画家、書家、薬師、曲芸師などで編成され、約400人に及んだ。太鼓などを打ち鳴らし、楽器を演奏しながら、曲芸を見せながら華やかに賑やかに、進んだといわれる

参考書 「歴史の道調査報告書 朝鮮人街道」(滋賀県教育委員会)